

東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター 研究棟の排気筒倒壊に係る立入調査結果について

令和3年1月27日
防災・危機管理部原子力安全対策課

令和2年4月13日に東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター研究棟で発生した排気筒の倒壊について、県は、令和3年1月26日に大洗町とともに、下記のとおり立入調査を実施しました。

記

1 実施日時

令和3年1月26日（火） 13時52分 ～ 16時35分

2 実施者

県、大洗町

3 立入調査結果

(1) 確認事項

東北大学が講ずるとしていた、再発防止対策及び水平展開が完了していることを確認した。

主な確認事項は以下のとおり。

- 再建された排気筒に関して、建築基準法に準拠した設計方針で設計されるとともに、今後の保守管理等を踏まえて接合部が保守管理可能なボルト締めとなっていること及び点検口が設けられていることを現場調査及び関係書類により確認した。
- 各種規程類の制改定により、排気筒に係る点検が定期的及び地震等後に臨時的に実施されること、その点検結果が排気筒使用におけるホールドポイントとなっていること、構造や施工方法を記した資料が適切に保管されることとなっていることを、聞き取り及び関係書類により確認した。
- 本事象の水平展開として、ホットラボ実験棟、アクチノイド元素実験棟の排気筒の点検がされ、健全性が確認されていること、排気筒以外の設備として、管理区域のガラス窓に金属板を設置し、強風による飛来物対策が施されていることを現場調査及び関係書類により確認した。
- 通報連絡体制の改善のため訓練が実施されたこと、また、通報連絡に係る要員の増員や、マニュアルの更新が行われたことを聞き取り及び関係書類により確認した。

(2) 要望事項

- 品質管理の強化に伴い、各種規程等の文書化が図られたが、記載された内容について適切に運用されるよう実効性を高めること、また、今後も定期的に内容の点検を行い、継続して改善が図られるよう取り組むこと。